

洋画を利用した英語授業の試み

堀 登代彦*・松 田 奏 保**

An Attempt to Use an American Film for English Class

Toyohiko HORI, Kanaho MATSUDA

Abstract

We tried to teach English by using an American film "Free Willy." The main purpose of this attempt is to have the students learn daily spoken English. In usual English classes, they don't have much chance to learn such authentic English. At first, they see this film with Japanese caption, and then they try to understand spoken English without it. Most students seemed to enjoy the classes and become familiar with spoken English little by little.

1. はじめに

今回のレポートは、視聴覚教室とLL教室において、アメリカ映画「フリー・ウィリー」を教材として実施した英語Aの授業の実践報告である。

この授業は、10月の第2週から第4週にかけて（前期定期試験が終わってから、高専祭が始まるまでの約3週間）2名の教官によって平成10年度第1学年全5クラスを対象に、各クラス8時間ずつをあてて実施された。

2. 目 的

「オーセンティック（authentic）な英語，すなわち本物の英語に触れる機会を学生たちに与えたい。しかも普通のアメリカ人の日常会話を，よりオーセンティックな状況において」というのが，今回私たちがこの試みを行った理由である。

中学や高校の授業で（時には大学の授業でも）使われる英語教材は，学習者のレベルに合わせて易しくアレンジされていることが多い。それは教科書以外の各種リーディング教材やリスニング教材についても言える。もちろんこれは，外国語として英語を学ぶ者に対する学習効果を考えてのことである。ある程度の語学力を得るまでは，現地で実際に生で使われているような英語（書き言葉であれ，話し言葉であれ）を提示するのは避け，

学習者用に手加減された，いわば加工された英語でまず十分な英語力をつける，そしてその後で本物英語に挑戦する，というのもそれほど間違った方法ではなからう。

だが，いつまでたっても自動車教習所内の安全なコースだけで運転していても，突発的に何が起こるか判らない，その場の状況に応じて臨機応変に対応しなければならない外の道での運転が上達することはない。

それは英語学習でも同じであろう。そこそこの基礎力がつけば，最初は多少きつくとも手加減されていない本物の英語，オーセンティックな英語に身をさらし，試行錯誤しながら学んでいくことが大切なのではないだろうか。

映画のセリフで使われている英語は，その語彙や慣用表現，話される発音やスピードなどすべての面において，決して英語学習者用に手加減されたものではない。現実にはアメリカならアメリカでアメリカ人同士が日常生活で普通に話している英語である。しかも映画には音声だけでなく映像もあるので，表情や身振り手振りなどによる言語外コミュニケーションの仕方も同時に知ることができる。それが会話の内容やその細かいニュアンスを感じ取る手掛かりともなる。その時の周囲の状況，例えばアメリカの高校の教室や家庭の食卓や結婚式の様子，また映画の舞台となっている土地の風景などを眺めることも出来る。

セリフの英語自体がオーセンティックであるだけでなく，いわば，その英語セリフが発せられる周囲の状況もまたオーセンティックであるのだ。

* 講 師 一般教科

** 講 師 一般教科

3. 使用映画の紹介

今回の授業では、スクリーンプレイ出版株式会社から市販されている映画シリーズの中から「フリー・ウィリー」(1993年／アメリカ)を選んだ。その理由として、このシリーズには「シナリオ本」「日本語字幕なしのビデオ」「英語字幕ビデオ」がそろっており、授業を行う際に必要な教材が手に入るということ、また学生にとってストーリーがわかりやすく、比較的容易な英語が使われているということがあげられる。英語の特徴は「全体を通して発音が明瞭で、会話スピードもほどよい。大部分が家庭で使われている標準的な表現で、卑語はほとんどない。……普段着の生きた英語表現が満載」であり、リスニング難易度も「初級」である。全体で113分という長さも授業で扱うには程良いものである。

ここで簡単にストーリーを紹介しておく。幼い頃母に捨てられた孤児のジェシーは、孤児院の生活に嫌気がさして友人と逃げ出すが、すぐに警察に追われ、逃げ込んだ先の水族館で落書きしているところを捕まってしまう。その後ジェシーは里親に引き取られるが、彼らの親切をなかなか受け入れられず心を許すことができない。そんなジェシーが、罰としての落書き消しで水族館に通ううちに、そこにいたシャチのウィリーと出会い2人の間に友情が芽生えていく。海にいる家族から引き離されているウィリーと、家族を求めながらも周囲になじめずにいるジェシーは不思議と心が通じ合うのである。ジェシーがウィリーに芸を教えようと、経営難に悩む水族館長はそれを目玉として売りだそうとしたが、本番で失敗してしまったためウィリーを殺して100万ドルの保険金を手に入れようと企む。それを知ったジェシーは、調教師と里親の協力を得てウィリーを家族のいる海へ帰そうとする。無事に家族の元に帰ったウィリーに別れを告げ、ジェシーもまた里親の家族と一緒に帰っていく。

このように人間同士や動物との友情、家族への愛情や葛藤、自由を求める気持ちなど、主人公と比較的年齢が近い学生にとっては身近に感じられる内容と思われ、そのぶん興味を持って取り組めるものと考えた。

また、場面の区切りはシナリオ本を参考に行ったので、ここにそれぞれの場面のタイトルと所要時間をのせておき、以下本文中でもこれを参照することとする。

CONTENT

1. 僕、自分の家がほしい	(11:06)
2. よくきてくれた	(6:28)
3. ウィリーは変わり種	(8:52)
4. 君は命の恩人だ	(11:52)
5. ウィリー、心の友を見つける	(12:54)
6. 厄介払いしたい?	(11:33)
7. ウィリー・ショー	(13:54)
8. ウィリーの価値は100万ドル	(14:25)
9. がんばれ、相棒	(5:40)
10. さよなら、ウィリー	(14:23)

4. 授業方法

各クラス全8時間のスケジュールをたて、2時間続きの授業と1時間の授業の配分、そしてLL室と視聴覚室の配分も同じになるよう、時間割変更を行った。また、視聴覚室には大きなスクリーンがあり音響効果も良いので、各クラスとも6時間以上を視聴覚室で行えるようにした。

授業を始めるにあたり、「日本語字幕付ビデオ」を使用するかどうか、そして最初に映画を最後まで通してみせるかどうかの2点に迷ったが、リスニングをする前に学生にストーリーを把握してもらいたいことと授業時間の制約があることから、最終的には場面を区切りながら「日本語字幕付ビデオ」と「字幕なしビデオ」を併用する方法をとることにした。リスニングでは、時間配分も考えながら比較的聞き取り易いセリフが多い場面を選び、シナリオ本からそのセリフ部分を空欄にしたプリントを作成して、字幕なしビデオを見ながら空欄を埋め日本語訳をするという形式をとった。作成したプリントは計3枚で、1枚目は練習、2、3枚目をテスト形式にして提出してもらった。以下に、計8時間の授業スケジュールをあげておく。

① 1, 2 時間目 (視聴覚室)

パート5の途中まで(45分)を日本語字幕付で見せ、最後のシーンを用いて「セリフ聞き取り練習」(図4)を行う。各セリフにつき4～5回繰り返して書き取らせた後、解答を行う。

② 3, 4 時間目 (LL教室)

前回のプリントの復習として、その場面のセリフをもう一度聞き取った後、さらに口語的短縮表現、音声変化、慣用表現等の説明を加える。

次にパート5の残りからパート6まで(18分)

を用いて聞き取りを行う。ここでは特にプリントを使用せずに白紙を配布して、こちらから指示したセリフおよび聞き取れたセリフをすべて書き取り、提出させる。

③ 5 時間目（視聴覚室）

パート 7 (14分)を使って「第 1 回セリフ聞き取りテスト」を実施する。まず日本語字幕で見せた後、字幕なしで見せながらテストを実施。空欄になっている各セリフ（全10問）を 4 回ずつ聞かせて書き取らせ、日本語訳も書かせる。

④ 6, 7 時間目（視聴覚室）

残りのパート 7 からパート 10 まで(35分)を最後まで日本語字幕で見せた後、パート 9 の途中からパート 10 を使って「第 2 回セリフ聞き取りテスト」を実施する。全10問でやり方は前回と同じとし、その他口語体、省略などが入っているセリフ（10問）の日本語訳も行う。

⑤ 8 時間目（視聴覚室/L L 室）

「第 1 回・第 2 回セリフ聞き取りテスト」の解答・解説をした後、授業アンケートを行う。

5. 授業の内容と分析

5. 1 リスニング練習

最初に行ったリスニング練習（図 4）は、①～⑫のセリフ穴埋めと慣用表現や音声変化などを説明することで、日常の生きた英語が実際にはどう聞こえてくるのかを学生に実感してもらうことがねらいであった。例えば、①のセリフ "You want me to put it in your mouth" では、"put it in" のところが音の連結により「プリリン」のように聞こえる。また⑥のセリフ "Can you do it with the other arm?" は、"Can you" が弱化されて「クンユ」、また "do it" の "t" は隠音で「ドゥイッ」となり、"with the other arm" はそれぞれの単語が連結されるので、結局セリフ全体では文字で見るセリフとは全く違うものとして聞こえてくる。学生にとってこのセリフは、実際にジェシーが別の腕を上げて言っている画面を見ながらでも全くお手上げだったようである。その他、⑩の "Look at you" は 3 語とも連結・同化され「ルッカチュー」と聞こえるし、⑪の "Can you feed him?" では "him" の "h" が抜け落ちて "feed" と連結・同化され「フィーディム」となるなど、英

語の音に慣れていない大半の学生にとってはやはり難しかったようである。だがその一方で、自分の持っている知識を使い、画面から推測して何とか聞き取ってやろうという意欲も強く感じられた。おそらく映画の持つストーリー性と、画面を見ながら生きた英語を聞けることが学生の興味をひいていたものと思われ、映画を授業に用いる利点がうまく機能していると感じられた。

その他聞き取り以外でも、慣用句の "what's the matter?" や "make a deal with ~", 文法で習う "want ~ to …" が日常のセリフに使われていることや、"gotta=got to" "wanna=want to" といった頻繁に起こる省略形についても説明を加え、ただセリフを聞き取れたかどうかだけではなく、日常会話のあり方にも注意を向けるように促した。

5. 2 リスニングテスト

次に、こうした最初のリスニング練習・解説を終えて行われた第 1 回・第 2 回リスニングテストの結果を分析してみる。それぞれの10問のセリフを全部のせておくが、ここで扱うのは、その中から特に間違いが多かったり学生にとって難しかったと思われるものとする。

< 第 1 回リスニングテスト >

- ① Hey, all right
- ② Wanna play ball ?
- ③ You did it !
- ④ So you can do all that again ?
- ⑤ So what ?
- ⑥ It'll make money
- ⑦ please take your seats
- ⑧ Cool !
- ⑨ This could be big
- ⑩ Something's wrong

< 第 2 回リスニングテスト >

- ① are you all right ?
- ② They tried to kill Willy
- ③ help us. Help us, and I'll do anything
- ④ Get back here
- ⑤ Don't forget me
- ⑥ You can be free
- ⑦ Do it
- ⑧ You only have to do it
- ⑨ Things can happen

⑩ let's go home

1 回目で正解が少なかったのが③と⑨である。

③では "did it" が連結・同化され、さらに "t" が隠音となるので「ユディディツ」となり、何か別の単語に聞こえてしまったようだし、⑨は "could be" の "d" が隠音となって連結することで「クツビ」と聞こえるのに戸惑ったと思われる。また両者に共通して、"You did it" 「やったね」という言い回しを知らない、また控えめな表現である助動詞の過去形 "could" を知らないという「知識不足」も聞き取れない要因と思われる。その他、1 回目の⑦では "take your sit" "take you sit" "take you are sit" などの間違い、2 回目の③では "hope us" という間違いがみられたのだが、このように類似の音を持つ単語として聞き取れていても、その文法的な間違いに気づいてそこから正しい単語を推測するところまでは残念ながらいかなかったようだ。また気になる間違いとして、字幕で見た日本語にひきずられて聞こえていない単語を書いた解答がみられた。例えば1 回目の⑨で、字幕では「ヒットするぞ」とあるので "This is big hit" などの間違いが多くあったし、2 回目の④では「戻ってこい」という字幕から "Come back here", ⑨は「奇跡は起こる」という字幕から "miracle" という単語を入れているものがいた。このように日本語字幕の記憶をもとにセリフを書くということもあるので、日本語字幕をリスニングにどう活用するかは今後の課題となるだろう。

この2 回リスニングテストの結果 (図2) をみると、2 回目の方が正答率が高くなっているのだが、おそらくそれはリスニング力が上がったからというよりは、2 回目の方にはそれほど音声変化をもつセリフがなかったからだと思われる。最後の授業でセリフの正答を示すと、「なんだそう言ってたんだ」「そんな簡単な単語だったんだ」という声があり、単語や文法を知識として持っていたとしても実際には聞き取れなかったというように、とにかく学生はこの音声変化に苦しんだようだ。その他アンケート結果 (図3) にもみられるように、話すスピードが速いこと、単語や言い回しを知らないこと、声の抑揚などがリスニングをする際の困難な点としてあがったのだが、まさしくこれらは英語 (日常会話) を聞き取るときの重要なポイントであり、学生は今回の授業を通してそれを実感できたものと思う。

6. 授業を終えて

6. 1 授業の反省

授業後に行ったアンケートの集計 (図1) をみると、授業内容、リスニング力への効果、映画内容などに対して肯定的な意見が多く、その点からは今回の授業はうまくいったものと言えるだろう。ただ、2 回の聞き取りテストに関しては8 割以上が難しいと答えている。英語の音に耳慣れしていない学生にとっていきなりの映画セリフの聞き取りは、日常会話教材等で聞く英語とどれだけ違うかを知るのには良い機会となったが、やはりウォーミングアップなしではつらかったのは確かである。このことから、今回の授業に入る前にあらかじめ他の教材を使ったリスニング練習をし、音声変化のある英語の音に慣れておく必要があったと思われる。また映画のセリフをビデオからカセットテープへ録音して、音声だけに集中させる方法もある。それによって、セリフの音声変化のパターンを復習して定着を図ることができよう。

今回の授業は学生にとって楽しかったとはいっても、実際にリスニングにかけた時間は少ないため、これで学生のリスニング力が上がったとはいえない。しかしこれから先、リスニング力を高めていく過程への導入部の役割は果たせたものと思う。

6. 2 今後の課題

今回の授業は、映画を見てセリフを聞き取るという作業を中心に行ったのだが、その他の授業方法として考えられるものをいくつかあげてみたい。

1. 字幕作り。翻訳者になったつもりで、学生にある場面のセリフを訳してもらい、それを字幕として画面に入れて見てみる。
2. 映画の途中から学生オリジナルのシナリオに変え、各自が英語で作ったセリフを発表する。この場合グループ作業にしてもいいだろう。
3. 音読。セリフを読んだり聞き取るだけでなく、実際にセリフを声に出してみる。そうすることで耳で覚えた音声変化も一層記憶に残るはずである。
4. 役を演じてみる。セリフがどんな状況で、どんな気持ちで話されているのかを考え、登場人物になったつもりでセリフを言う。セリフを暗記するので、スピーキング力につながる。
5. 英字幕の利用。今回も実は「CC (クローズ

ド・キャプション)ビデオ」(日本語字幕・英字幕を出したり消したりできるビデオ)を利用しようと思ったのだが、残念ながらLL室にある機器の不調でできなかった。このCCビデオを使えば、私たちが日本語字幕で映画を見るように、英字幕を見て瞬時に意味を理解するという練習ができる。ただそれにはやはり十分な英語力が必要であり、ほとんどの人は字幕だけに集中してしまい映像を見ることができなくなってしまうだろう。また、英字幕はすべて大文字で書かれていることが多いので、見慣れていないとさらに困難になるかもしれない。それでも英字幕はセリフの理解に役立つので、今後利用法を考えてみたい。

以上にあげた5つの方法は、1と5はリーディング、2はライティング、3と4はスピーキングを重視した学習となり、リスニングを入れれば言葉の4技能をすべて活用することができる。実際にはこれら全部を取り入れた授業をするのは難しいことであるが、今後また映画を利用した授業を行う際には、この中のいずれか1つの方法またはいくつかを組み合わせる方法で、今回とは違った授業を試みたいと思う。

次に映画授業の際に必要なと思われる設備、機器について触れておきたい。

1. CCビデオ用のデコーダー。このデコーダーはLL室にしかないのだが、視聴覚室にもあるといつでもCCビデオを使うことができる。
2. LL室のヘッドホン。LL室でのリスニングでヘッドホンを使いたいという学生がいたのだが、今の設備ではビデオの音をヘッドホンで聞くことはできなかった。LL室では、スピーカーを通してよりヘッドホンの方が学生にとって聞き易いし集中できるはずである。
3. DVD(デジタル・ビデオ・ディスク)の利用。DVDはカセットビデオとは違って、CDのように瞬時に巻き戻し・早送りができるため時間や手間がかからない。また画面の鮮明さも利点である。今後DVDの使用を考えたい。

以上、授業の反省および今後の課題を述べてきたが、今回の試みを通して映画を授業に生かすいろいろな可能性を見つけることができた。学生の

8割以上が洋画を見るのが好きと答え、6割がそれを日本語字幕で見たいと答えていることから、多くの学生が外国に目を向け、俳優の言うセリフを英語のまま生で感じたいと思っていることがわかる。そのような学生の洋画に対する興味を授業の中で生かすことができれば、学生の英語学習への意欲を高めることにもなるはずである。今回の授業に対しての学生の反応は良かったが、その理由の1つにあげられているのが「今までになかった授業のやり方の新鮮さ」である。これは裏を返せば、その新鮮さがなくなれば英語や授業に対する興味も薄れていくかもしれないということだ。授業に映画を用いることが学生の興味を引くとしても、ただ同じやり方を繰り返すのではなく、常に工夫を加えていくことが必要なのである。

7. 終わりに

今回の映画を利用した英語授業は、初めての試みということもあって授業方法が試行錯誤の状態であり、教材の研究も十分とは言えなかった。だがこうして実際にやってみることで、問題点や改善点そして新たな方法が見えてきたので、今回の授業は今後へ続くための足がかりとなるであろう。これからも映画授業を行うために、さらに授業研究、教材研究を行い、設備などの問題に取り組んでいく必要がある。

学生の興味を引きつつ英語力の向上を図れるよう、今回の授業をもとに努力していきたい。

使用教材

- 1) 池下裕次, KIM A. LUTZ(編):「フリー・ウィリー」スクリーンプレイ出版株式会社(1996)
- 2) 曾根田憲三(監): HOLLYWOOD 映会話クラブ「フリー・ウィリー」スクリーンプレイ出版株式会社(1995)

参考文献

- 1) 新田晴彦:スクリーンプレイ学習法 スクリーンプレイ出版株式会社(1994)
- 2) スクリーンプレイ編集部(編):映画英語教育のすすめ スクリーンプレイ出版株式会社(1995)
(平成10年11月30日受理)

図1 洋画英語授業アンケート集計

Q.1 今回の授業の全体印象はどうでしたか？

学科	各学科人数	1. とても良い	2. 良い	3. あまり良くない	4. 良くない	5. その他
A	42	17	21	3	1	0
B	40	14	22	3	1	0
C	40	16	16	5	3	0
D	40	9	26	4	0	1
E	40	13	17	7	2	1
計	202	69	102	22	7	2
割合	/	34%	51%	11%	3%	1%

Q.2 今回の8時間という回数はどうですか？

学科	各学科人数	1. ちょうど良い	2. まだ少ない	3. 多すぎる	4. その他
A	42	21	20	1	0
B	40	20	15	4	1
C	40	21	18	1	0
D	40	21	15	2	2
E	40	15	20	5	0
計	202	98	88	13	3
割合	/	49%	44%	6%	1%

Q.3 2回の聞き取りテストの難易度はどうでしたか？

学科	各学科人数	1. 結構易しい	2. まあまあ	3. やや難しい	4. とても難しい	5. その他
A	42	2	9	21	10	0
B	40	0	5	17	18	0
C	40	3	6	15	16	0
D	40	0	7	16	17	0
E	40	0	6	20	14	0
計	202	5	33	89	75	0
割合	/	3%	16%	44%	37%	0%

Q.5 今回のような授業は、あなたにとってリスニング力をつける効果があると思いますか？

学科	各学科人数	1. とてもある	2. まあまあある	3. あまりない	4. ほとんどない	5. その他
A	42	17	20	3	1	1
B	40	21	16	3	0	0
C	40	17	17	3	2	1
D	40	19	16	5	0	0
E	40	18	16	4	1	1
計	202	92	85	18	4	3
割合	/	46%	42%	9%	2%	1%

Q.6 また洋画を使った授業をしたいですか？

学科	各学科人数	1. はい	2. どちらとも言えない	3. いいえ	4. その他
A	42	38	2	2	0
B	40	36	2	2	0
C	40	35	2	3	0
D	40	37	2	1	0
E	40	29	7	4	0
計	202	175	15	12	0
割合	/	87%	7%	6%	0%

Q.8 洋画を見るのは好きですか？

学科	各学科人数	1. とても好き	2. 好きなほう	3. あまり興味なし	4. ほとんど興味なし	5. その他
A	42	25	16	1	0	0
B	40	16	11	12	1	0
C	40	15	21	2	2	0
D	40	25	12	2	1	0
E	40	17	15	5	2	1
計	202	98	75	22	6	1
割合	/	49%	37%	11%	3%	0%

Q.9 洋画を見ると、日本語字幕と日本語吹き替えではどちらがいいですか？

学科	各学科人数	1. 日本語字幕	2. どちらとも言えない	3. 日本語吹き替え	4. その他
A	42	27	4	11	0
B	40	24	7	9	0
C	40	28	5	7	0
D	40	25	6	8	1
E	40	19	8	13	0
計	202	123	30	48	1
割合	/	61%	15%	24%	0%

Q.10 字幕付きで洋画を見ているとき、英語に関心を持って見ていましたか？

学科	各学科人数	1. はい	2. 時には	3. いいえ	4. その他
A	42	3	27	10	2
B	40	3	21	16	0
C	40	5	26	8	1
D	40	5	21	13	1
E	40	2	16	22	0
計	202	18	111	69	4
割合	/	9%	55%	34%	2%

Q.12 「フリー・ウィリー」はどうでしたか？

学科	各学科人数	1. とても良い	2. 良い	3. あまり良くない	4. 良くない	5. その他
A	42	18	18	4	2	0
B	40	6	25	7	1	1
C	40	14	20	5	0	1
D	40	13	23	3	1	0
E	40	12	20	4	4	0
計	202	63	106	23	8	2
割合	/	31%	53%	11%	4%	1%

図2 第1回・第2回リスニングテスト結果

学科	各学科人数	第1回平均点	第2回平均点
A	42	8.2	12.2
B	40	8.0	12.3
C	40	10.7	13.3
D	40	10.5	12.2
E	40	8.3	13.1
計	202	9.1	12.6

* 第1回・第2回とも20点満点

図3 洋画授業のアンケート結果 (1学年総計202名:自由記述形式)

Q1 <良かった点>

- 50名 映画で楽しく(英語の)授業ができた
- 31名 映画の内容・ストーリー
- 29名 アメリカ人の日常の生の会話が聞けた
- 28名 映画が見れた
- 28名 リスニングの勉強ができた
- 18名 今までにない授業方法が新鮮だった
- 10名 洋画の英語セリフに注意して見れた
- 4名 聞き取れなくては意味がないとわかった
- 4名 予習する必要がなかった
- 3名 英語セリフが聞き取れるとうれしかった
- 3名 英語への興味がわいた
- 3名 テストが重荷ではなかった
- 2名 視聴覚室の大画面で映画が見れた
- 1名 今の自分の英語力を認識できた

<良くなかった点>

- 33名 1回最後まで通して見たかった
- 31名 英語セリフの聞き取りが難しい
- 8名 映画の内容・ストーリー
- 8名 私語をしている人がいた
- 7名 テストがあったこと
- 7名 LL室の機械・設備
- 5名 視聴覚室の後ろの席では字幕が見づらい
- 4名 同じ場面を何度も見せられたこと
- 4名 テスト方法
- 3名 教室移動が面倒

Q4 日本語字幕なしでセリフを聞き取る(理解する)ときの難しい点

- 107名 音声変化
(省略、短縮、弱化、消滅、連結)
- 61名 話すスピードが速い
- 33名 声が聞きづらい(小さい、かすれる)
- 17名 すべてにおいて難しい
- 9名 知らない単語が多い
- 6名 ストーリーがつかめない
- 4名 複数の人が同時に話すと聞き取れない
- 2名 書き取るときスペルがわからない
- 2名 雰囲気は理解しても完璧にはわからない

Q7 洋画を用いた授業で、今回のやり方以外に希望する授業方法

- 17名 始めに映画を全部通して見る
- 8名 ただ見るだけ(ひたすらセリフを聞く)
- 6名 自分の好みの映画でやってほしい
- 5名 もっといい設備でやる
- 5名 テストをしない(簡単に、回数少なく)
- 3名 最後に映画を全部通して見る
- 2名 役を演じてみる
- 2名 字幕なしで通して見てから内容把握
- 1名 シナリオを見てからリスニング
- 1名 英語字幕で見たい
- 1名 自分のオリジナルバージョンを英作文

Q11 これまでに見た洋画の中で良かったもの

- 32名 タイタニック
- 24名 レオン
- 21名 インディペンデンス・デイ
- 16名 ディープ・インパクト
- 14名 スピード、ホームアローン
- 13名 フォレスト・ガンブ
- 10名 ジュラシック・パーク、フェイス/オフ
- 9名 バック・トゥー・ザ・フューチャー、ダイ・ハード
- 8名 スタンド・バイミー、ホームアローン2
- マイフレンド・フォーエバー
- 6名 クールランニング、天使にラブソングを
- スリーパーズ、ターミネーター、セブン
- 5名 ショーシャンクの空に、スクリーム
- パーフェクトワールド
- 4名 エア・フォース・ワン、スターウォーズ
- ネバーエンディングストーリー、バイブ
- ゴーストバスターズ、ブレイブハート、
- トゥルーライズ、メン・イン・ブラック
- メジャーリーグ、仮面の男、ジョーズ、
- ザ・ロック
- 3名 エイリアン、チャイルドプレイ、マスク
- ベートーベン、ローマの休日、ランボー
- 陽の当たる教室、フィフスエレメント、
- ミッションインポッシブル、トップガン
- ロスとワールド、ドラゴンハート、

その他多数

図4 洋画のセリフ聞き取り練習

- 1回目：字幕なしの映画を、英語のセリフの意味をよく考えながら見る
- 2回目：①～⑭の下線部に聞き取ったセリフを書き込む。(右欄にその訳を書く)
- 3回目：答え合わせ、解説。

EXT. AMPHITHEATER -DAY- Willy is swimming around in his tank. Jesse walks over and losses a fish to Willy. Willy grabs the fish in his mouth and places it back on the side of the tank.		JESSE : ⑥ _____ ? Yeah? ⑥ _____	⑥ _____ ねえ？ ⑥ _____ _____
JESSE :Well, what's the matter, Willy? Thought you liked these things.	なあ、どうしたんだ、ウィリー？ これが好きじゃなかったのか。	Willy holds up his other flipper. JESSE :Hey!	おや。
Jesse picks up the fish.		Jesse waves his hand.	
JESSE :Well, you only... You're supposed to eat it like this.	ほら、こう... こういうふうにご食べるんだよ。	JESSE :Hey! ⑦ _____ ?	ねえ、⑦ _____ ?
Jesse holds the fish to his mouth and makes a chewing sound.		Willy waves his flipper, imitating Jesse.	
JESSE :See?	分かる？	JESSE :Well,⑧ _____ ? Can you groove? Dance?	じゃあ、⑧ _____ カッコよくきめられる？踊れる？
Willy shakes his head back and forth.		Jesse holds out his hands and turns in circles. Randolph comes into the tank area and sees Willy following Jesse's instructions.	
JESSE :No?	だめ？	RANDOLPH :Rae? RAE :What?	レイ！ 何？
Willy opens his mouth wider.		Rae walks over and sees Willy turning in circles.	
JESSE :Oh. ① _____	なるほど。① _____ _____	JESSE : ⑨ _____ ? Willy, you're really doin' it! Yeah! ⑩ _____ ! Makes me dizzy.	⑨ _____ ?ウィリー、 本当に回ってる！そうだ、⑩ _____ _____ !目が回っちゃうよ。
Willy nods.		RANDOLPH :Looks like Willy's got himself a soul mate.	どうやらウィリーは心の友を見つけたようだな。
JESSE :I'll make a deal with you. Don't bite my hand off, and ② _____ Okay?	取り引きしよう。僕の手を食いち ざらなければ、② _____ _____ いいね？	Jesse sticks out his tongue. Willy imitates him and moves his massive tongue back and forth. Rae walks over.	
Jesse losses the fish into Willy's mouth.		Rae :Jesse. ⑪ _____ ? Jesse :Sure I can feed him. ⑫ _____	ジェス。⑪ _____ ? もちろんやれるさ。⑫ _____
JESSE : ③ _____ ?	③ _____ ?	Jesse unwraps another fish and losses it into Willy's mouth.	
He tosses in another one.		JESSE :Wanna try? C'mon.	やってみる？ さあ。
JESSE :Wow!	うわあ！	Jesse hands Rae a fish, but Willy immediately drops under the water and splashes his tail.	
Jesse slowly reaches out his hand and touches Willy's nose.		RAE :Willy and I didn't get off to a very good start.	ウィリーと私はスタートがまずかったの。
JESSE :I guess you feel like rubbery! Your skin peels off, ④ _____, though. Well, buddy, I gotta go. We'll save these scraps and fishes for later.	ゴムみたいな感触だな！ 皮がむけるよ。④ _____ じゃあな相棒、僕は行かないと。 この残った魚は後のために取っておこう。		
Jesse starts to walk away. Willy follows him around the side of the tank.		JESSE :What? ⑤ _____ ?	どうした？ ⑤ _____ _____ ?
Willy puts one of his massive flippers in the air.		JESSE :Oh, I can do that, too.	なんだ、それなら僕もできるよ。
Jesse holds up his hands. He switches hands.			

